

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

パンフレットを集めているうちに、学校に興味を覚えました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

英語の長文に慣れるために、1日1題解きはじめました。

化学が苦手だったので、ひたすら同じ問題集を何度も解きました。

基礎固めをしっかりとしました。

[夏休み]

全教科センターの過去問をひたすら解きました。日本史の資料集の細かい部分をひたすら目を通しました。

センターの日本史は下問2と3は時代がかわっていくことが多かったのを、「今日は〇年分の

第1問を解く」として、ひたすらやりました。また、自分だけの日本史1冊を作りました。例えば

模試の解答のまとめの部分を取り戻したりしました。化学も1冊を作って対策をしました。

[2学期～入試直前]

夏休みに勉強しましたが、あまり思うように成績が伸びなかったのを私立専願にしました。

そこから教科をひたすら効率よく勉強できました。1日1題英語の長文をやるので1学期から

決めていました。しかし赤本を解くと、長文は1冊はなく、単語の穴埋めや問題集があり、可もなく不可もなく

慣れが大事だと思ったり、立命館大学の対策問題集のレベルが高いものを使って慣れさせて

いました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

スマートフォンを「使うとき」と「使わないとき」や「友達と話すとき」と「勉強するとき」と

分別のある行動を心がけました。「時間が足りない」と焦るより、「まだ大丈夫」と

自分に言い聞かせてました。でもやっぱり自分が思っているより模試の成績が伸びなかった

とき、可もなく焦りました。私は寝ると気持ちが悪くなるタイプだったので、早く寝て

次の日早く起きて朝から教室内で自習しました。真面目な生活をしていました。

友達に話を聞いてもらったりして不安を解消のときは前から勉強しました。

友達は大卒だと思っていました。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

自分だけが成績が伸びていない、みんなはきっともっと効率よく勉強できているに

ちがいないと私自身も思っていました。しかし、人は人、自分は自分とわきまをきいて

全てのことを前向きにとらえて乗り越えてください。